

2009年9月号  
かわらばん  
2009年9月\*日発行  
森を守り育てる会

# もいのにぎわい通信 もいもいあそび隊

2009年8月22日 特別活動



## 2009年度 第5回定例・夏休み特別特別活動 森の池作り・

日時: 2009年8月22日(土)8:30-18:00(一般10:00-16:00)

場所: 小山町 観音地()

天気: 曇り 気温32℃ 湿度70% 時々南よりの風~2m

参加者: 17名 家族参加4(子供6人、大人11人)

### 活動記録

- 8:45 準備:穴の水くみ出し
- 9:30 作業手順の確認等)砂入れ、埋め戻し深さ・遊水水平調整、水池掘り、
- 10:30 早めの休憩を取る 冷たい茶となし  
作業続き・農業用シート張り、クッション材貼りこみ
- 12:30 昼食休憩
- 13:00 シート張り続き、専用シート張り  
押さえの土手作り 小高理事長からスイカの差し入れ
- 14:30 記念撮影 給水(第1回目 1,300リットル)  
水遊び開始
- 15:40 押さえの土手作り仕上げ
- 16:45 給水2回目 1,300リットル
- 17:00 後片付けの後 解散

## 活動報告

### 池の準備から完成まで

- 7月25日 夕刻地元の方に外形を機械で掘っていただく
- 8月2日~4日深さ調整 深さの調節のため埋め戻しを行う
- 10日 大雨調査 水没(※ 別途レポート参照)
- 16日 排水路を作って溜まった水を流す。
- 20日 シート現地納品
- 21日 タンク現地納品受取
- 午後現地にて施工方法と給水方法についての打ち合わせと道具の運び込み

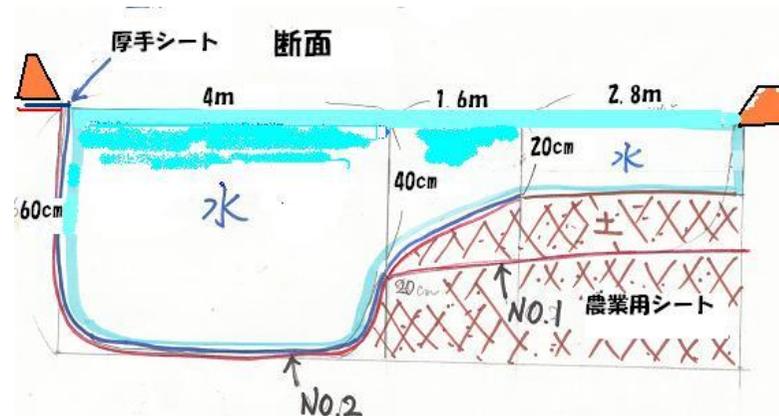
### 22日の経過

◆8/9・10に水没した後、排水溝を掘ってすう推知に排水したものの最深部(-60cm)に水が溜まっていたため、バケツでくみ出す。砂地のようにすぐ浸透すると想像していたのとは違い、粘土質の泥で、

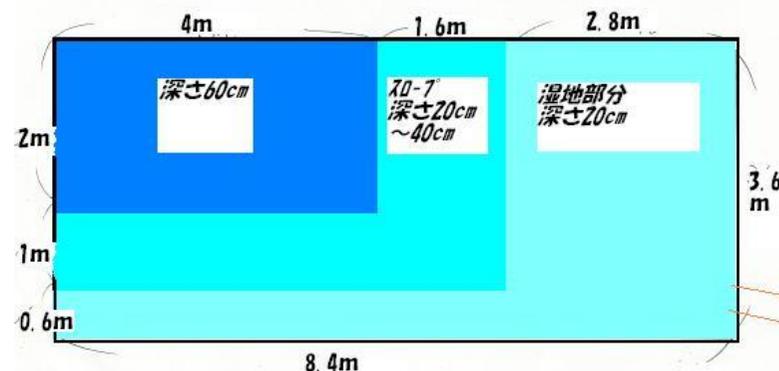
全く下の谷津田の泥田んぼのように足をとられる。そこで乾いた土を入れることとしたが幸い残材の土嚢があり、中は良質の砂！砂を入れたことで固さが出た。

◆大雨による水没観察から南側に遊水地を広げて掘り込む、同時に、周囲の土を浅い部分に入れてレベルを出しつつ調整。最大 40cm、最浅部 20cm(農業用シートの上に+20cm埋め戻し)、周囲の押さえ 60cm 幅、

池の平面図・池の断面図



ポンドシート 6m×8m 深さ60cm 7千60cm



◆こまめな給水を行い、梨しの甘さがおいしい！作業中には参加した子供たちの周りにトンボが飛び交い手に止まって卵を産んだ！という声に、「早く池を作って」と言っている！と作業を続けた。午前中の作業はほぼ予定通り進行し。昼食を取る。

◆午後は農業用シートを敷きこみ、クッション材の敷きこみ、防水シートの順に敷きこみを行った。ビニールシートは農家の方から分けていただいたイチゴ温室ハウスの廃品利用、浅い部分は農業用

シートの上にさらに 20cm 厚の土を入れる。この土は後ほどシートの押さえの部分やその周辺からとった。元々傾きがあったが一定の水平調整を行う。仮押さえは土嚢を使い、シートだけになるところは押さえの盛土を行う。

クッション材の敷きこみ途中で休憩を取る、小高理事長が水を持ってきてくれ、スイカをご馳走になる。防水シートを広げ・・・どっちが裏だ・・・縫い目があるほうだ！防水シートを池の浅瀬に合わせ馴染ませながら敷きこむ。みんなの息も合って仮押さへの土嚢に加え押さへの盛土を作る。

◆北側にシートが予想以上にあまった。が、カラのプールにいる河童が干上がってしまうかと、仮押さえをして給水開始。トラックを池の北西角までつけてもらい、500 リットルと 300 リットルのタンクから同時放水。この水は小高さんのお宅の井戸水。17 度の水は冷たい！子供たちは空プールで待ち受け、2 本の滝に大喜び！最深部に溜まり始めたら早速飛び込んでみる子も。はじめは足から着水、しばらくすると足をつけずに飛んですべる名手も。タンクの入替えでは 500 リットル 2 人 3 人ではびくともしない。500kg というのを忘れていた・・・が皆でセーノと動かす。小高さんがもう一往復してくれるとのことをお願いする。

◆その間に、北側の周囲を、シートの下に草が入り込まないように周囲幅を広げる。これをめぐってはそろそろ疲れも出て後日にしようという声もあったが、やった方が早そうだと、めくり取ってみると皆さんの息も合い結構早くできた。周辺のシートの押さえを土盛りするところが最後の力仕事となった。

◆小高さんが 2 度目の水を運んできてくれ 1,300 リットルを放水。冷たい子供たちの気持ちよさそうなを見ていた大人も手や顔、頭も水を掛けて気持ちよさそう。子供たちは名間か上がろうとはしないが、日も傾き、道具を片付け解散となった。

◆乾燥地のため、雨水をどう集めるかと、大雨の時にはあらゆる方向から水が入るため、排水管を周知への導水路に向けて土手の下に埋める計画ではある。排水をどう切り分けるか、土手の高さやその外周の排水路掘りは様子を見ながら行うこととした。

皆様、お疲れ様でした。子供たちは大人になっても覚えているかな！昨年 12 月の落ち葉のプールとは違う、水を感じてくれたでしょうか。

しゃぎ！（大人も?!）はじめは足だけで気持ちいい～といっていたものが池の端からのダイビングが始まり、順番に飛びこんで全身ずぶぬれで楽しそうに遊ぶ姿は、一日の疲れを忘れさせるものとなりました。子どもにとって他では経験できない楽しい思い出となったのでは・・・。

池づくり -1



池づくり-2



池に飛び込む子供たち



皆さん池づくりご苦労様でした。



### 森もりあそび隊 ～池にとびこむ?!～



◇大人たちが池作りを進めている間・・・子どもたちは池のまわりにいる たくさんのコウロギをつかまえたり、あかとんぼを捕まえて遊んでいました。とんぼは産卵をひかえたものが多く、手の上でうまれた卵に歓声があがり、何人かで水のある場所に移してあげていました。

◇池の掘った土は赤土と粘土質の土が多く、泥団子を作るには最適。砂をかけてはみがきあげ、数個のきれいな泥団子が完成！

◇人手が少なかったこともあり、池の中に土を戻す作業(穴掘り)や防水シートの下クッション材を広げるとき(寝っころがる)や防水シートを池全体に落ち着けさせる作業(走り回る)は子供たちもところどころ 楽しみながら手伝ってくれました。作業写真もカメラマンさんながら6年生のお姉ちゃんが大人の真剣な様子を上手に撮影してくれました。

◇夕方の少し涼しい風が吹き始めた頃、ようやく池に井戸水が入ることになり、子供たちはおおは

★お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

- ・次回定例作業ともりもりあそび隊は、9月26日(土)雨天の場合は28日(日)です。メダカをもらいに越智に行きます。山の池には土女生き物がいるでしょうか？

行事内容の予告:

今後の予定 :10/24(土)定例お手入れ、11/28(土)里親になって！千の苗づくり・・・昭和の森まで秋のもりの観察会となどクヌギやコナラのどんぐりを集め、ポット苗を作ります。

地元のドングリ集め、地域の皆さんや土気、あすみが丘の4つの小学校でポット苗の里親になって育てていただき、来年の春、当地や学校などで植樹祭を行う予定です。皆さん楽しみにしていてください。千の苗・植林プロジェクトを計画しています。